

エネルギー対策等の推進について

作成年月日	令和7年 4 月16日
作成部局名	企画部総合政策課

目次

I エネルギー対策等の推進

- 1 水素社会の実現に向けた取組の推進.....03
- 2 海洋エネルギー資源開発の推進.....08
- 3 発電所周辺地域の振興.....09

II 総合的な水資源対策等の推進

- 1 ひょうご水ビジョンの展開.....10
- 2 水資源対策の推進.....11



Ⅰ エネルギー対策等の推進

1 水素社会の実現に向けた取組の推進

水素社会の実現に向けた取組の方向性等を示す「兵庫水素社会推進構想」（平成31年3月策定）のもと、2050年カーボンニュートラルへの貢献が期待される水素エネルギーの普及拡大を図る水素を取り巻く社会情勢の変化や将来的な水素需要量を踏まえ、令和7年度に構想を改定予定

(1) 「兵庫水素社会推進構想」の概要

県としてめざすべき水素社会の姿を共有し、水素社会の実現に向けた取組の方向性を提示

水素利活用の拡大、社会への普及 [短期的取組]

- ① FCモビリティ（FCV、FCバス等）の普及促進
- ② 燃料電池（家庭用、業務・産業用）の普及促進
- ③ 水素関連分野の技術開発や新たな事業創出等への支援
- ④ 水素への理解向上に向けた普及啓発



水素大量消費時代を見据えた対応 [中長期的取組]

- ① 低コストな水素利用の実現
（水素受入基地の立地、水素ガスタービン発電の導入）
- ② 再エネ等地域資源を活用したエネルギー自立型社会の実現



水素社会の実現 [2050年頃]

○ 環境に優しい脱炭素社会

- ① CO2排出量が低減し、温暖化対策に貢献
- ② 水素の蓄エネ機能等を活用し、高効率なエネルギー利用が実現



○ 県民の快適で安心な暮らしが守られている社会

- ① 燃料電池等の活用により非常時にも安定的にエネルギー供給ができ、安心な暮らしが確保
- ② エネルギーセキュリティにも寄与

○ 経済の好循環が生まれ、産業や地域が活性化している社会

- ① 企業集積や新規参入が促進され、地域経済が活性化



(2) 産学官が連携した取組の推進

水素社会の実現に向けた機運醸成を図り、産学官が連携した取組を推進

① ひょうご水素社会推進会議の開催

産学官が参画するひょうご水素社会推進会議を開催し、国際的な水素拠点の立地検討や水素の利活用に向けた研究を推進

項 目	内 容
水素大量消費時代を先導する 国際拠点の形成	国際水素サプライチェーンの拠点となる水素受入基地の整備と、サプライチェーン構築に向けて 低コスト水素の活用を検討・推進
水素利活用の展開	再エネの余剰電力を利用した水素の製造・貯蔵・利用など、水素利活用策の研究を推進
水素の普及促進	水素社会実現に向けた理解促進・機運醸成を図るため、普及啓発を強化

【推進体制イメージ】

【産学官連携組織】

ひょうご水素社会推進会議

【構 成】 企業、学識者、国、県、市町等

【取組内容】 水素利活用の拡大、水素関連
産業の拡大、機運醸成 等

【庁内組織】

ひょうご水素・脱炭素社会 推進本部

【構 成】 本部長 : 知事、
副本部長 : 副知事
本部員 : 各部長等

【取組内容】 施策の企画・調整、共有

【産学官連携組織】

兵庫県水素ステーション整備促進協議会

【構 成】 企業、研究機関、国、県、市町等

【取組内容】 水素ステーションの整備、運営支援
水素レリィの普及促進 等

【産学官連携組織】

播磨臨海地域CNP推進協議会

【構 成】 企業、学識者、国、兵庫県、市、経済団体等

【取組内容】 播磨臨海地域の脱炭素化の計画策定

【自治体連携組織】

水素社会実装をめざす兵庫県自治体連絡協議会

【構 成】 兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、洲本市、
加古川市、高砂市、南あわじ市、淡路市、猪名川町、
播磨町 ※ 今後、適宜追加

【取組内容】 水素利活用の連絡調整、国への要望、機運醸成等

(3) 播磨臨海地域での水素等サプライチェーンの形成

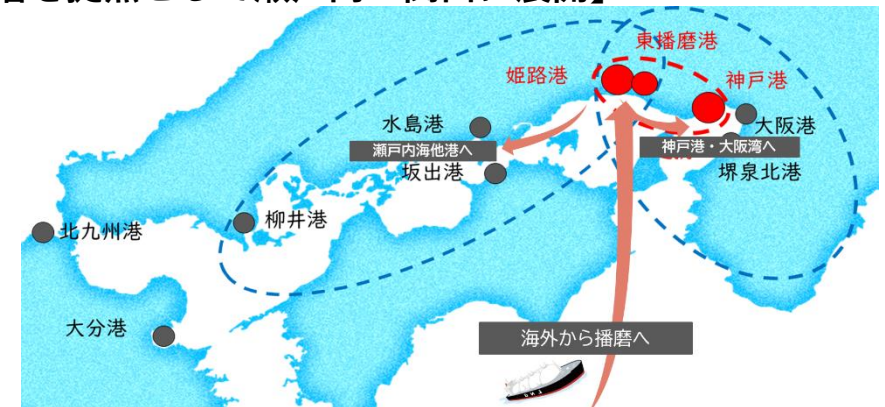
令和6年度に港湾脱炭素化推進計画（CNP計画）を策定し、姫路港を中心とする播磨臨海地域で水素利活用の拡大や水素等サプライチェーン拠点の形成を推進

- ① ひょうご水素社会推進会議での具体的な課題の抽出や取組の検討
- ② 播磨臨海地域での港湾脱炭素化推進計画（CNP計画）の推進（土木部） 等

【播磨臨海地域の水素等の需要量】



【播磨を拠点として瀬戸内・関西に展開】



瀬戸内・関西における水素等サプライチェーンの拠点化

基本コンセプト： 「ファースト・ムーバー 「播磨」 for 瀬戸内・関西」

(4) 普及啓発の推進

水素社会の実現に向けた県民理解の促進や機運醸成を図るため、水素エネルギーについて
周知・啓発

- ① 水素の可能性や関連プロジェクトの情報発信
- ② シンポジウムやワークショップの開催による機運の醸成
- ③ 県内イベントでの水素体験ブースの設置
- ④ 若者世代に向けた動画配信や電子リーフレットの配布



高校生を対象とした施設見学会
(R7.3 三菱重工業高砂水素パーク)



高校生を対象としたワークショップ
(R7.3 加古川プラザホテル)



水素実験教室・水素パネル展示
(R6.10 姫路港ふれあいフェスティバル)



小学校高学年向け動画(R5年度制作)



小学校高学年向けリーフレット(R5年度制作)

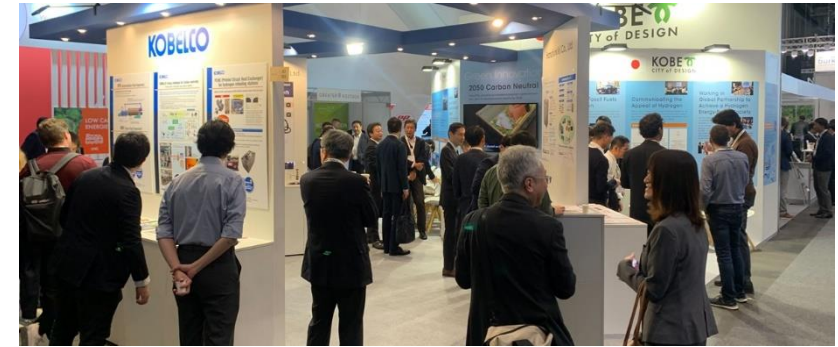


(5) 水素モビリティの普及（環境部所管）

水素ステーションの整備や燃料電池車等の導入を支援し、水素モビリティの普及を促進

(6) 水素関連企業の集積（産業労働部所管）

企業が行う水素関連の設備投資や新製品の試作開発、海外展開を支援し、水素関連企業の集積を促進



ドイツの水素技術展示会
「Hydrogen Technology EXPO」への出展（R6.10）

<参考> 水素社会推進法（R6年5月成立、同年10月施行）

1 「炭素成長型経済構造への円滑な移行のための低炭素水素等の供給及び利用の促進に関する法律」の概要

(1) 低炭素水素等の供給・利用を早期に促進するため、国は、基本方針の策定や計画認定制度の創設、計画認定を受けた事業者に対する支援措置や規制の特例措置を講じる

(2) 自治体は、国施策へ協力し、供給・利用施策を推進。事業者は、安全を確保しつつ積極的に設備投資等を行う

2 計画認定を受けた事業者に対する支援措置

国による計画認定を受けた事業者に対し、「価格差に着目した支援」や「拠点整備支援」等を実施



2 海洋エネルギー資源開発の推進

国産のエネルギー資源として期待の高い「表層型メタンハイドレート」の開発を促進するため、国への働きかけや県民への広報活動を実施

(1) 「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」の取組

日本海側の12府県で構成する「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」において、国に対して商業化に向けた研究開発の着実な実施を働きかけ

- ① 国への要望（R6年5月、内閣官房長官、経済産業省）
 - ・令和7年度予算（調査費等）の確保、研究開発の着実な実施
- ② 「日本海海洋資源フォーラム」の開催（R7年1月、福井県）



内閣官房長官への要望(R6.5)



メタンハイドレート燃焼実験
(R6.11 但馬まるごと感動市)

(2) 県民への広報活動

メタンハイドレートに対する県民の理解促進に向けた啓発（R6年11月）

- ・専門家によるメタンハイドレートの燃焼実験や開発状況の紹介等

<参考> メタンハイドレート開発に向けた国の取組

これまで国の研究開発は、太平洋側に多く存在する「砂層型メタンハイドレート」を中心に行われてきたが、日本海側で存在が確認された「表層型メタンハイドレート」についても、平成25年度から資源量や回収技術に係る調査研究が進んでいる。

【スケジュール】

年 度	内 容
H25～H27	・広域地質調査、地質サンプル採取
H28～R1	・採掘・分離・揚収に関する有望技術を特定
R2～R9頃	・特定した有望技術による生産システムの研究開発、海洋調査の実施
R10～	・海洋産出試験の実施
R12頃まで	・民間企業が主導する商業化開始

3 発電所周辺地域の振興

電源三法（電源開発促進税法、特別会計に関する法律、発電用施設周辺地域整備法）に基づき、国の電源立地地域対策交付金を財源として公共用施設整備などの住民の利便性向上のための事業や地域の活性化を支援

(1) 水力発電施設周辺地域交付金

水力発電所が立地している6市町に対し、道路、地域防災拠点等のインフラ整備やソフト施策実施のための補助金を交付し、発電所周辺地域の振興を図る。



学校教育施設整備事業
机・椅子の整備(香美町)



あさご芸術の森美術館事業
フィギュア展の開催(朝来市)

対象市町	対象発電所	主な事業（R6年度実績）
神河町	大河内、市川、南小田第一、南小田第二	町道上岩宮野線舗装繕事業
宍粟市	原、野尻、草木、上野、安積、神野	市道乗取線舗装繕事業
豊岡市	阿瀬、石井、岩中	市道道場浅倉線路面補修事業
香美町	矢田川	学校教育施設整備事業 等
養父市	横行	市道横行線舗装繕事業
朝来市	奥多々良木	市道伊由市場小西線道路改良事業 等

※交付対象：市町内水力発電所の評価出力が合計1,000kW以上、かつ基準発電電力量の合計が500kWh以上のもの

交付期間：運転開始後15年経過、以降最大50年間

Ⅱ 総合的な水資源対策等の推進

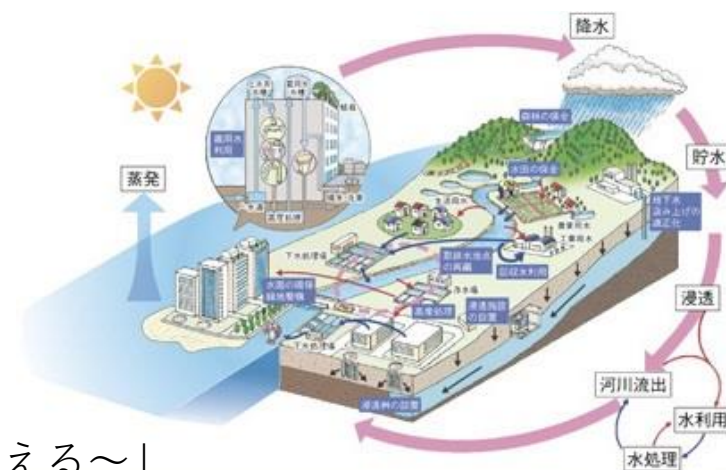
1 ひょうご水ビジョンの展開

平成27年度に改定した「ひょうご水ビジョン」のもと、
水と共生する県民生活の構築を目指す

(1) 水ビジョンの概要

2030年度（目標年次）のめざすべき姿：

「水、さと、まちの共生 ～水を知り、水を活かし、水に備える～」



水循環のイメージ

基本方針	取組内容
① おいしい水をつくる	・ 森林等の適正管理と保全による水源かん養 ・ 安定した水道供給の確保、 ・ 兵庫のおいしい「食」生活の推進
② 水をもっと上手に使う	・ 雨水、再生水、井水の利用推進 ・ 節水生活の普及、 ・ 水のエネルギー利用の推進
③ 水へのおそれ（畏れ、恐れ）を知り備える	・ 流域全体で取り組む治水対策等の推進 ・ 防災教育と情報提供の推進、 ・ 渇水への備えの強化
④ 水の豊かさを守る、つくる	・ 水辺環境の保全と創造 ・ 生態系の保全と回復 ・ 水循環全体の周知
⑤ 水の文化、伝統を育む	・ 水文化の継承・創造 ・ 伝統産業の振興 ・ 水がつなぐ交流の推進



おいしい水のPR
(尼崎市、兵庫県)

(2) 県民意識の醸成

項 目	内 容	R6年度実績
中学生「水の作文」コンクール	水に対する関心や理解を得るため、国土交通省と共催で次代を担う中学生を対象に作文コンクールを実施	応募総数364編（最優秀賞 1、優秀賞 3、入選17）
水の日（8月1日）広報イベント	① パネル展示や水の試飲等を通じて水の貴重さや大切さをPR ② 県内主要施設のブルーライトアップ（水をイメージ）	① R6年8月 淡路市 ② 神戸市等 5 市町 9 施設



水の大切さ、美味しさの啓発
(R6.8 県立淡路島公園)



姫路城のブルーライトアップ（R6.8 姫路市）

2 水資源対策の推進

(1) 広域的な水資源調整

安定した水資源の確保や良質な水源の保全など、
琵琶湖・淀川水系の広域的な水資源調整を実施

(2) 渇水対策

渇水により県民生活等に重大な被害が発生する恐れがある場合
には「兵庫県渇水対策本部」を設置するなど、広域的な調整を実施



吞吐ダムの渇水状況（R7.2 三木市）
「加古川水系広域農業水利施設総合管理所」提供